

# 水害の記憶と記録

## 水害との闘い(滋賀県の水害史)

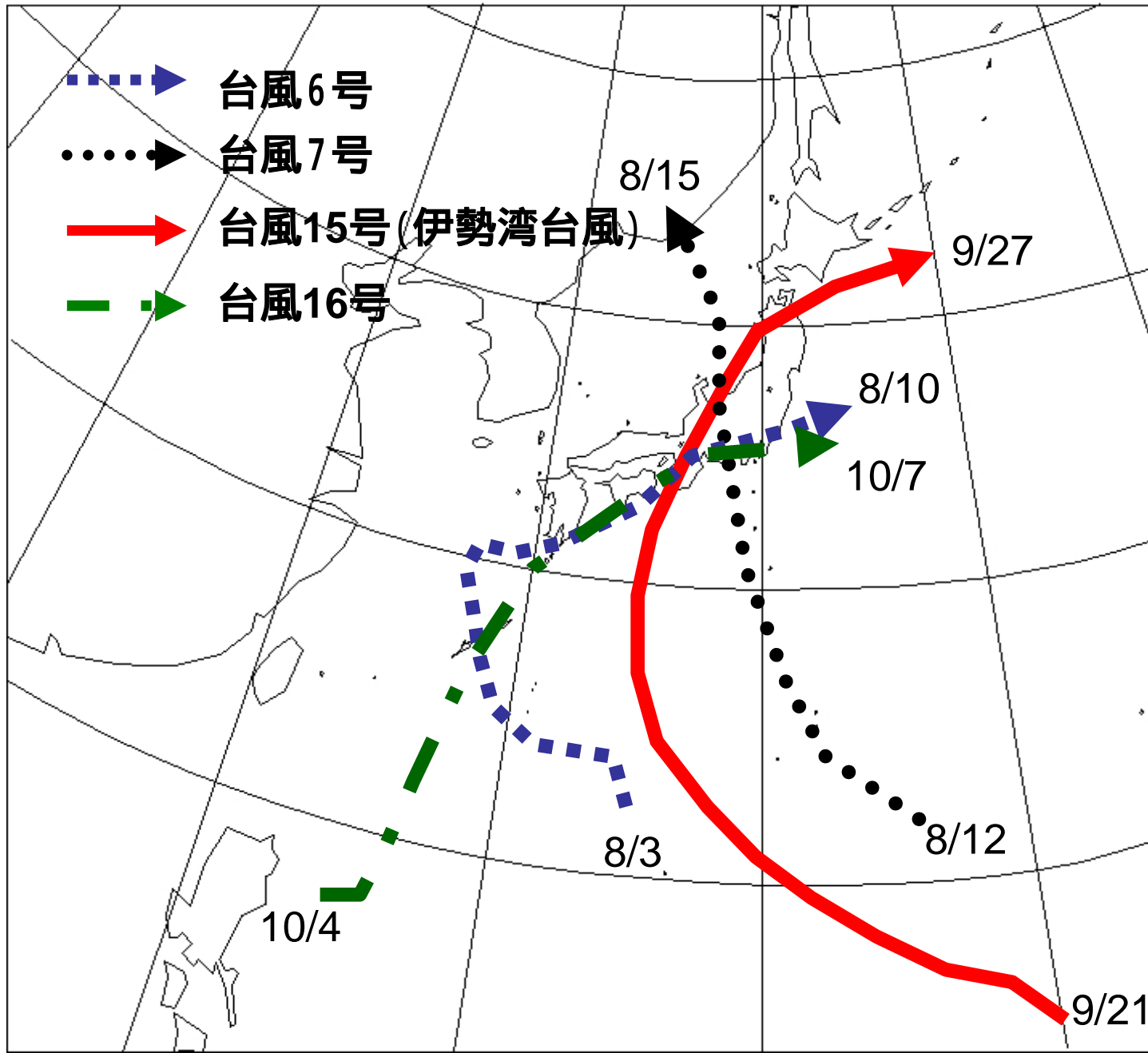
事象	死者	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
昭和28年13号台風	43			9,390	29,284
昭和34年7号台風	4			2,434	17,081
昭和34年伊勢湾台風	16			5,920	19,816
昭和40年秋雨前線・台風	3			1,662	12,282
平成2年19号台風	1			180	
平成13年7月豪雨		1	9	4	387
平成20年7月ゲリラ豪雨				11	203



昭和34年伊勢湾台風による浸水状況(野洲市小南)

# 水害の記憶と記録

～昭和34年の台風襲来状況～



8月から10月にかけて  
4個の台風が上陸

台風7号と、台風15  
号(伊勢湾台風)により  
大きな被害が発生

台風15号(伊勢湾台  
風)は、929hPaと歴代  
2番目に低い中心気圧  
で和歌山県潮岬西方に  
上陸

# 水害の記憶と記録

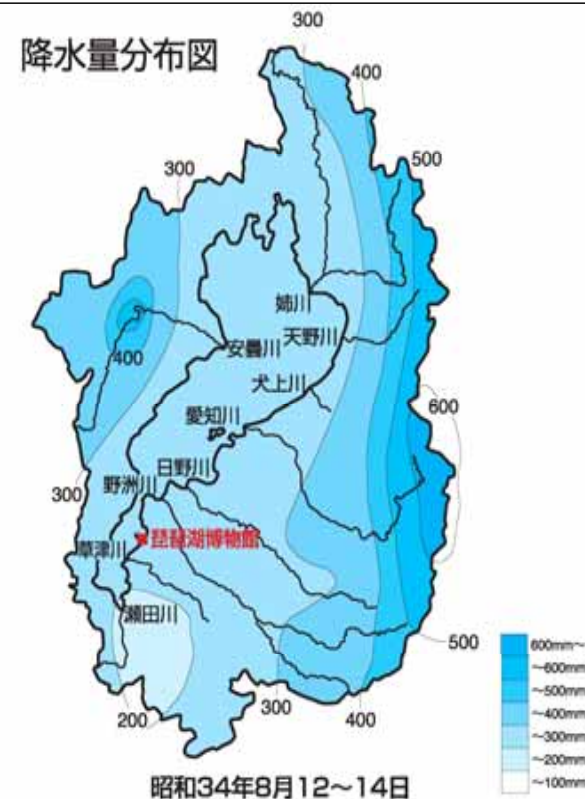
昭和34年(1959)8月12日～13日(台風7号)

西進形の雨台風で8月12日～13日に天野川上流域に集中豪雨をもたらした。時間雨量の最大は春照で61mm、吉槻で67mmであった。13日午後には安曇川上流域に、夜には鈴鹿山系へと雨域は移動していった。平野部で200～300mm、東部山間部で600mmに達した。



昭和34年(1959)8月15日 彦根市 旭町 / 提供：琵琶湖博物館

道路が冠水した彦根駅前の状況。写真手前には川が流れ、橋が架かっていたが、水があふれて道路との区別がつかなくなった。



昭和34年8月12～14日

## 被害概要

人的被害 死者…4人 負傷者…18人

住宅被害 全壊…16戸 半壊…72戸

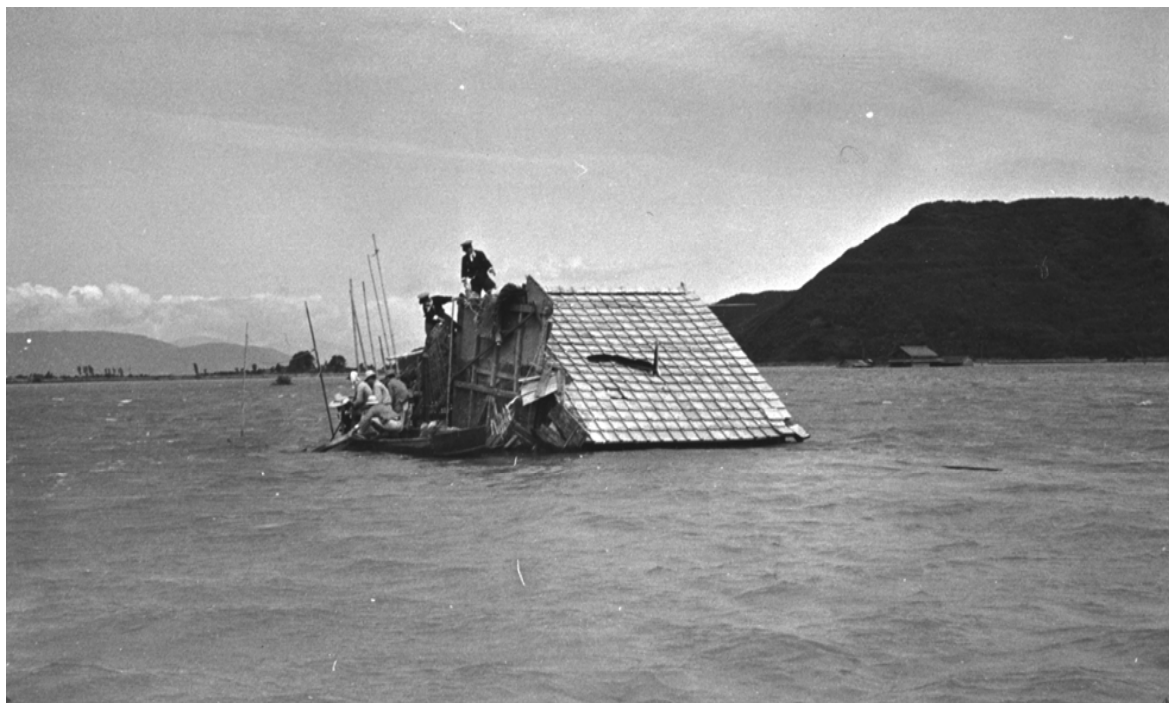
床上浸水…2,434棟 床下浸水…17,081棟

# 昭和34年8月(台風7号)

# 水害の記憶と記録

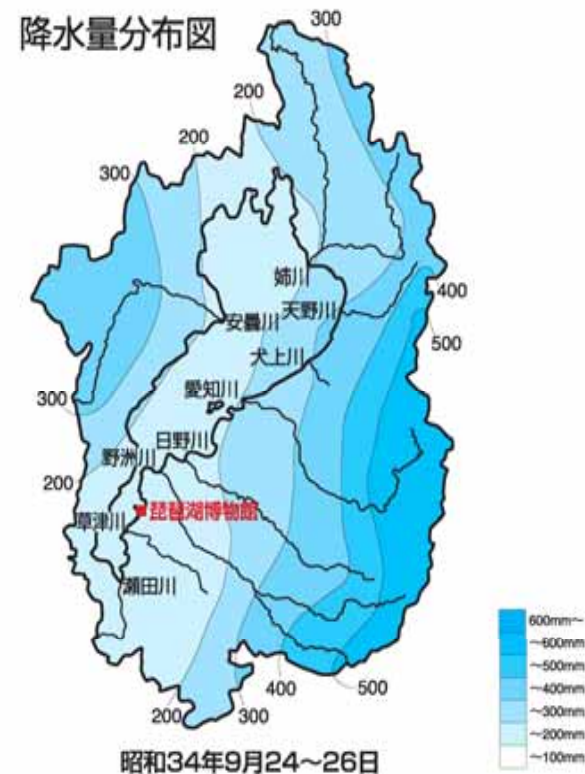
昭和34年(1959)9月26日(伊勢湾台風)

県東部を北東方向に進んだ雨台風で、特に伊勢湾岸に大きな被害をもたらした。気圧は彦根で観測史上最低の949.5hpaを記録し、降水量は鈴鹿山系で400~550mm、伊吹山系で300~400mm、風速も平均風速20m/s以上の暴風雨であった。



昭和34年(1959)9月 近江八幡市 牧町 / 提供：琵琶湖博物館

水荃干拓地(近江八幡市)は日野川の決壊で軒下まで浸水したため、26日夜29戸130名が避難誘導された。



## 被害概要

人的被害 死者…16人 負傷者…114人

住宅被害 全壊…342戸 半壊…1,309戸

床上浸水…5,920棟 床下浸水…19,816棟

# 昭和34年9月(伊勢湾台風)